

科目名	基礎ゼミ (Liberal Arts and Sciences Seminar)			科目コード	115
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看①～⑤、臨①～⑤
担当教員	脇坂 浩之、草薙 康城、鳥居 順子、仲渡 江美、内藤 真帆、金澤 知典、窪田 静、 田中 昭子、山岡 源治、徳原 康哲 ※教員の担当配置は変更される場合があります。				
授業目標	<p>「人間を知る」「社会を知る」「自然を知る」の3領域における科学的思考の文章 (e.g. 新書本) に親しみ、学問をする基礎的態度を養う。前期の「初学者ゼミ」での学習を基に、テーマ学習を通して、レジュメ (発表資料) 作成方法、発表原稿のまとめ方、プレゼンテーションの実際などの基本的なスタディスキルの上達を図る。さらに、ゼミ形式の小集団 (平均9名) 学習によって、受講生が相互に学び合う環境 (協同学習) の中で、質問や議論する力、協力し合いながら理解を深める力を身につける。</p> <p>※開講前に「基礎ゼミ」ガイダンスとゼミの希望調査を行う。その際に、各ゼミで使用するテキストおよび扱われるテーマについての資料を配付する。以下に、テキストの一例を示す。</p> <p>(例) 人間を知る: 「自閉症スペクトラムとは何か」千住 淳 著 (ちくま新書)          社会を知る: 「生殖医療はヒトを幸せにするのか」小林亜津子 著 (光文社新書)          自然を知る: 「低炭素社会のデザイン」西岡秀三 著 (岩波新書)</p>				

授業計画

回	項目	内容
1	オリエンテーション	①本ゼミの学習目標や到達目標、学習するテーマの概要、受講ルール、成績評価方法などについて理解する ②ゼミ発表の順番など、各自の役割分担を決定する
2～8	テキストを中心とした演習活動	<p>毎回、テキストの予習を前提として、演習活動を行う 担当者 (2～3名) は、協力して各章の内容など発表内容をレジュメ (発表資料) にまとめ、発表を行う その後、全員で疑問点を出し合い、話し合いを通じて疑問点の解消を図り、内容の理解を深める</p> <p>(目標)</p> <p>①各回、発表者、司会、記録者など、役割を決め、「協同学習」の精神に基づいて、主体的にゼミを運営する                  ②レジュメやパワーポイントによる発表資料の作成の仕方を修得するとともに、作成する上での注意点について理解する                  ③質問することの重要性、話し合いを通じて疑問点を解決する、あるいは問題点や課題を抽出することの意義について理解する</p>
9	中間期のまとめ	研究発表会に向けて、これまでの学習内容を振り返り、発表テーマや役割分担などについて話し合う
10～12	発展学習	前半で学習してきた内容の理解を深め、研究発表会に向けて、発表資料を作成することを通じて、以下の点について学習する
13		<p>①図書館やインターネットなどを活用して必要な資料を集める際の、資料収集の方法や注意すべき点                  ②プレゼンテーション資料の作成法                  ③分かりやすく伝えるための論理展開 (発表内容の構成) のあり方</p> <p>全員で役割を分担して発表資料・発表原稿などを準備する                  発表の予行演習を行い、聴き手を意識した発表の仕方を学ぶ</p>
14～15	研究発表会	<p>5ゼミずつ2会場に分かれて、各ゼミ 30 分の持ち時間で研究発表を行う (発表 20 分、質疑応答 10 分を予定)</p> <p>(目標) ①初めて聴く者へも分かりやすく、筋道立てた発表を行う                  ②発表内容に対して、積極的に質問を行う</p>
成績評価方法	<p>受講態度 100%</p> <p>※授業での発表と質問など、ゼミ活動への積極的貢献度、および、学期末の研究発表会での成果で評価する</p> <p>※発表すべき日の欠席は原則として認めない 違反する者には単位を与えない</p>	
教科書		
参考図書等	必要に応じて、担当教員が適宜紹介する	
授業時間外の学習について		
関連科目	114 初学者ゼミ	
備考	<p>①基礎ゼミのガイダンスと希望ゼミ調査は、別途行う (日程は「初学者ゼミ」で連絡する)</p> <p>②上記の学習内容は授業進行の概略を示しており、具体的な授業の進行および受講ルール等については、第 1 回目の授業で各担当教員が説明を行う</p>	